

- ①「主体的に学習する力を伸ばす、『聞く力・聞き合う力』の育成」
- ②「望ましい学習態度や構えを育てる基本的な学習習慣の定着」

学力向上推進員 委員 研修主任:佐藤公子 1年推進員:新居善江 2年推進員:中本裕美
主任:佐藤公子 青木真美 3年推進員:橋本禎子 4年推進員:近藤和子 5年推進員:浜
副主任:島田美穂 麻衣子 片山拓也 6年推進員:黒山裕司 特別支援推進員:横田順子
小野木真由美

(1)基礎的・基本的な知識・技能の習得

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 課題	①学習活動を支える読み・書き・計算などの基礎的・基本的な知識・技能を身に付けることができる。 ②目的に応じて文章を読んだり、要旨をまとめて書いたりできる。	「漢字の読み書きや計算ができる」と答える児童の割合を80%以上	・取組の継続 ・「朝の活動」の有効活用(読書、定着テスト等)	評価	次年度における改善事項
課題	①漢字や計算の確認テストを継続的に実施する。授業ノートのまとめ方を指導する。 ②読書活動や読み聞かせを計画的に取り入れる。	①漢字や計算の小テストや授業後のノート点検 ②一週間に1回以上読書や読み聞かせの設定			

(2)知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 課題	①要旨を捉え自分の考えと比較しながら話を聞くことができる。 ②根拠や理由を明らかにして、相手に分かりやすく自分の考えや思いを伝えることができる。	「先生や友だちの話を聞くことができる」「自分の意見や考えをきちんと言うことができる」と答える児童の割合を80%以上	・取組の継続 ・学年に応じたノート指導の徹底	評価	次年度における改善事項
課題	①書いたり話したりする活動を取り入れ、自分の考えを筋道立てて文章などで書く・表現する機会を設定する。 ②算数の「八万スタイル」を継承し、既習事項活用の課題解決、振り返りの充実、ノートの取り方等の指導をする。	①グループや学級全体で自分の考えを発表する機会を一週間に1回以上設定 ②算数科の授業で、毎回「八万スタイル」の指導を展開			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況	具体的目標(目指す子供の姿)	成果指標	中間期の見直し	取組状況	達成状況
よ さ 課題	自信を持って学習に取り組み、目標に向かって進んで学習したり活動したりできる。	「授業中がんばって勉強している」と答える児童の割合を80%以上	・取組の継続 ・家庭学習の充実(内容や方法の見直し)	評価	次年度における改善事項
課題	①学習ルールを徹底し、集中して授業に参加できるようにする。 ②学年便りや懇談等で家庭に協力を呼びかけ、家庭学習の習慣化を図る。	①毎回の授業中での児童の模範となる態度や活動をこまめに称賛 ②家庭学習の様子を毎月の学年便りで広報、学期末の懇談時に申し伝え			

平成27年度 学力向上ロードマップ

